

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズクラブからころ			
○保護者評価実施期間	令和7年1月27日 ～ 令和7年2月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日 ～ 令和7年2月21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・家庭支援が充実している。	・声を掛け合い、話しやすい雰囲気作りをおこなっている。 ・活動の様子について、写真や連絡帳で細やかに伝えることが出来ている。 ・相談があった際、迅速に対応し、面談等へつなげ、保護者の困りごとに対応することが出来ている。	・全スタッフが対応できるよう、言葉遣いや振る舞いを意識していく。 ・電話対応なども含め、丁寧に聞き取ることを意識していく。
2	・関係機関との連携の充実。	・保育園・幼稚園、学校・児童クラブ、他事業所ともお子さんの情報を共有し、共通理解を図っている。	・一人ひとりに合った細やかな支援を提供していく。
3	・施設外での活動も充実している。	・スポーツ教室、サッカースクール、音遊びを定期的に行っている。 ・バス遠足、夏祭り、クリスマス会など行っている。	・施設内外の活動をバランスよく行っていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎希望に添えないことがある。	・送迎範囲を広げることは容易だが、支援提供が短くなってしまう。 ・送迎人材の確保が難しい	・送迎希望が年々増加している。保護者さんとの直接的なやり取りを大事にし、保護者さんへの送迎も協力してもらう。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズクラブからころ

公表日 令和7年3月24日

利用児童数 15

回収数 14

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1			・活動ごとにスペースや部屋が区切られていて十分に確保されていると思います。 ・家庭的な雰囲気があります。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14				・職員の方が子ども一人一人に寄り添ってくれています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13			1	・完全なバリアフリーかは把握していません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1			・保育士だけだと思うので、専門性があるかは分かりません。	・外部の研修に積極的に参加しています。今後も継続して研修の機会を設け、専門性を高めていきたいと思っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				・保護者のニーズや課題を面談などで汲み取って下さり、子どものことを十分理解した上で作成されています。	・引き続き努力して参ります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				・ガイドラインが分からないが、具体的な支援内容は設定して頂いています。	・職員間では、ガイドラインの読み合わせや目的やねらい等共有した上で支援を実施していきたいと思っています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1			・活動内容を少しずつ変えてくださるので、固定化されず、子どもたちが変化に戸惑わない様に工夫されています。 ・社会体験の機会を沢山作って頂きました。本人の自信に繋がっています。	・引き続き努力して参ります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	1	5	・保育園を利用しているので、必要性は感じていません。 ・その機会を見ていないので、分かりません。	・現在は交流の機会を設けておりませんでした。今後機会があれば企画していきたいと思っています。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	2			・丁寧な説明がありました。 ・要点のみの説明でした。	・引き続き丁寧な説明を心がけて参ります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14				・兄弟で通っているが、それぞれに合わせた支援内容が説明されました。	・お子さん一人ひとりの成長発達に合わせた目標設定を検討していきたいと思っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14				・ペアレントプログラムに参加してとても勉強になりました。 ・来年度参加したいと考えています。	・ご参加ありがとうございました。今後も研修の機会を設けていきたいと思っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14				・いつも丁寧に話してくれます。 ・皆さん丁寧に対応して下さいありがとうございます。	・引き続き丁寧な説明を心がけて参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1			・助言だけではなく、視覚支援カードの作り方等具体的に教えてくれました。 ・いつも相談に乗って頂きありがとうございます。 ・家庭や幼稚園での困りごとを相談した際に、アドバイスをくれました。 ・気軽に声をかけてくださるので、安心します。	・ご意見ありがとうございます。引き続き丁寧な説明を心がけて参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				・困っていた時にすぐ支援して下さい助かりました。	・お子さんの成長と一緒に喜べるよう今後も努力して参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3		5	・運動プログラムにて、保護者同士の交流ができてとても良かったです。	・ご意見ありがとうございます。保護者会自体はありませんが、今後も参加しやすい保護者様同士の勉強会や交流の機会を作って行きたいと考えています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14			・相談に迅速に対応して下さいます。 ・幼稚園での様子をみて下さり、担任教諭と話して頂いたおかげで、視覚支援が増えました。	・引き続き努力して参ります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14			・毎回連絡帳でのやり取りをさせて頂いています。	・引き続き努力して参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13		1	・Facebookだけでなく、他のSNSでも見れるようにして欲しいです。 ・SNSをみないので、わかりません。	・引き続き情報発信に努めて参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14				・個人情報の取り扱いについては、職員同士で確認を徹底して参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10		4		・契約時に丁寧な説明を心がけていきたいと思います。マニュアル等明確な避難先も含めて標記がご提示できるよう、準備をしていきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1	8	・避難訓練があることは契約時に説明がありましたが、利用して日が浅い為、まだ体験していません。 ・年1で実施しているのかな？と言う感じがします。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12		2	・事故が無いように、細かく確認して頂いています。 ・サッカー時や療育時のケガ等、丁寧に説明して下さっています。	・活動時の安全確認を行い、怪我があった際は迅速に対応できるようにしていきたいと思っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1		・安心できる居場所をありがとうございます。 ・いつも楽しく通所しています。	・お子さんが安心して利用していただけるよう、引き続き努力して参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1		・毎週とても楽しみにしています。 ・今まで、1度も利用を渋ったことがありません。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1		・子ども達のことを考え、好きなキャラクターで教材を手作りして下さるので、職員の方の暖かな支援にとっても満足しています。 ・満足しています。 ・もう少し、利用時間や曜日が増えたらいいなと思います。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年3月24日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・人数が多いと感じた時には、活動を分け、2階のエリアも上手に使っている。スタッフとの連携が重要になると思う。	・人数が多いと少し狭いと感じる時がある為、活動の工夫や職員間のコミュニケーションを大事にしていきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・個別に対応が必要な時も対応ができていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・エリアごとにわかりやすい環境設定にしている。必要に応じて再構造化を行っている。	・フリーの遊びエリアの環境設定を見直していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・エリアを清潔に保つようにしている。消毒も適時行っている。	・感染症対策も含めた環境調整をおこなっていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・会議等で確認し合っている。	・報告・連絡・相談を意識できるよう、職員間のコミュニケーションを大事にしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・HPを活用し、伝えている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・第三者評価は行っていないが、保護者からの意見を頂く機会を設けている。	・第三者評価は実施していない。今後検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・法人内でも研修を行い自己研鑽している。	・研修の機会を設け、積極的に参加していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・一人ひとりの成長発達にあった目標を設定している。	・フォーマルな評価やインフォーマルな評価を統合した目標設定を話し合っていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・インフォーマルなアセスメントが中心になっている。フォーマルなアセスメントも読み込み、計画や支援の参考にしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝の打ち合わせを実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・しっかり時間はとれていないが、昼食時など申し送りをしている。	・短時間でも申し送りの時間を設けていきたい。 ・支援のスキル向上や成長に合わせた工夫を意識して取り組める様に研修などでスキルアップしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・確認継続を記入しておくことで、次の支援に繋がっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・半年に1度モニタリングを実施している。	・3ヶ月位に目標を再確認する会議を設けていきたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・児童発達支援管理責任者または担当者が参加している。	・人材育成に繋げていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・必要に応じて実施している。	・共通理解になるよう、保護者同意の下個別支援計画を共有している。情報交換などを必要に応じて実施していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・必要に応じて実施している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	5		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・運動プログラムを通して交流の機会を設けている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・朝の受け入れ時やフィードバックを実施している。	・引き続き、丁寧な説明と傾聴をおこなっていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			・研修の機会を設けていく。ご家族だけでなく、関係機関へも周知していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保 護 者 へ の 説 明 等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	・運動プログラムを通して保護者同士で交流する機会を設けている。	・保護者会自体はないが、今後も参加しやすい保護者同士の勉強会や交流の機会を作りたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			・個人情報の取り扱いには、職員同士で確認を徹底していきたい。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		・今後検討していきたい。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			・保護者への周知を徹底していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			・避難訓練は半年毎に行っているが、火災や震災時の対応などは活動の中で伝える機会を設けていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		・必要に応じて医師の指示も仰いでいく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		・保護者への周知を徹底していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	3		・外部研修や内部研修の場を設け全員で共通理解を図っている。